

代表質問 (礎)

■能登総合病院について

患者の利便性をよくしてより安全に！

荒川議員 禁止されていた敷地内薬局サービスが昨年10月から規制緩和され、同一敷地内の営業が可能になった。現在、サービス計画の取り組みについて伺う。また、薬局の独立性の担保について、患者の利便性をよくしたうえで、より安全に薬を使用できる体制が必要だと思うが、見解を伺う。

吉村病院事業管理者

当院の正面駐車場に2階建ての敷地内薬局の設置を予定している。正面玄関左側のロータリーに隣接し、2階部分にコンビニエンスストアと1階部分に保険薬局の2社が入る計画。現在、病院前に門前薬局が3店舗あり、そこまで100m以上あり県道を横断するため、高齢者や体が不自由な人には大きな負担である一方、門前薬局が最寄りの薬局になる患者も多いため、以前から改善策を模索していた。今回、敷地内薬局が許可されたことで、患者の利便性が高まり、天候を気にすることなく、負担は大きく軽減されると考える。現在、年内の完成を見込んでいる。また、医薬分業とは、医師と薬剤師が距離的に独立しながらも連携して患者の安全な薬物治療を行うのが本当の医薬分業だと考える。この敷地内薬局は、門前薬局より近くはなるが、人的、経営的に全く別組織で干渉することなく、独立性は担保できると考えている。

【その他の質問項目】

- 第2次七尾市総合計画策定
- 地域資源を生かした交流促進
- 能登立国1300年
- 介護保険
- 防災防火対策



荒川 一義 議員 (礎)



公立能登総合病院

一般質問

■パトリアへの行政機能移転について

市民の利便性を踏まえた行政機能移転を！

伊藤議員 建築基準法上、窓のないパトリア3階部分に親子ふれあいランドが移転するのは可能なか。移転するのであればサンライフプラザ内の児童センターに併設すればどうかとの要望もあり、現在の予定は、また、国際交流センターの窓口もパトリア3階におけないのか。具体的にパトリア3階への行政機能の移転計画は、どのようにしているのか。

不嶋市長

現在のミナ、クルにおいても、親子ふれあいランドはパトリア同様で建築基準法でいくと適していない。児童福祉施設、保育園並みの保育環境をつくるという意味で、より良い環境へ動かせばどうかと思っている。サンライフプラザへの移転も選択肢の一つとして検討していきたい。運営形態そのものも見直しをし、より現状にあった形での運営も検討し、どこに移転するのかしっかりと結論を出していきたい。また、国際交流センターの窓口について、パトリア3階には行政機関・組織が入ること、庁舎の管理規則上、開閉時間が定められていることや個人情報などを管理していることもあり、職務に関係のない方が自由に出入りすることは許されないため、国際交流センターの窓口設置は難しい。行政機能の移転については、改修工事を終えて来年の1月頃には入れる予定にしている。

【その他の質問項目】

- 子どもを産み育てやすい環境づくり
- スポーツ合宿誘致事業
- WiFi環境整備
- 食品ロス削減の取り組みとフードバンクの利用促進



伊藤 厚子 議員 (無会派)



駅前商業施設パトリア

一般質問

■防犯・防災対応について

防犯灯のLED化推進を！

永崎議員 町会連合会からの要望に対応する形で、防犯灯のLED化を推進する助成制度創設が当初予算に盛り込まれている。この制度は、町会の負担軽減はもとより地球温暖化対策にも寄与する取り組みとして、評価できる。①この助成は、全町会が対象になるのか。②防犯灯の補助金として、8月分の電気料に6カ月分乗じて、約1,400万円が助成されているが、町会のLED化率は現在どれくらいなのか。③早く進めれば、市も町会も負担軽減が図られるため、数年かけて行うより単年度で全てLED化する考えはないのか。

岡野副市長(総務部長事務取扱)

①防犯灯のLED取り換えの補助事業は、町会連合会からの要望に添えるものであり、全町会を対象としている。補助金額は、取り換え工事費の半額程度を考えている。②現在の町会のLED化率としては、1割強である。③補助期間は、町会が計画的に取り換えできるように、平成29年から平成32年までの4年間を考えており、当初予算でLED化助成に2,990万円を計上しているが、町会からそれを超える申請があっても柔軟に対応していく予定である。

【その他の質問項目】

- 史跡等の調査活用
- 祭礼行事支援
- 公共施設管理



永崎 陽 議員 (灘会)



防犯灯